

一般撮影

最新FPD(flat panel detector)搭載撮影装置を使用し、高精細画像の提供と低被ばく線量での撮影が可能となり、瞬時に画像の配信が可能。

一般撮影とは、X線によって胸部撮影、腹部撮影、関節・骨の撮影をする検査です。撮影によっては全脊椎撮影や下肢全長撮影など広い範囲の撮影もあり、様々な撮影に対応しています。

画像はデジタルデータとして画像サーバーに保存され、各診察室や病棟のモニターで閲覧可能なシステムが構築されています。他院紹介用の画像もデジタル化されており、写真の劣化の心配がありません。



ポータブル撮影

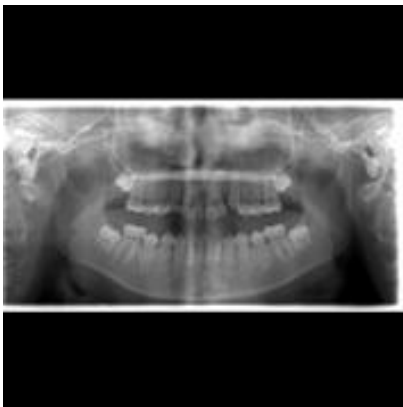
- ・ベッド上安静が必要な患者さまには、病室での撮影を行っております。
- ・病棟や手術室にもFPDを導入し短時間で高精細画像を提供できるようになりました。



歯科系撮影

歯科撮影は全歯列を断層撮影するパノラマ撮影や、小さなCR(画像を撮る薄いフィルムのようなもの)を口の中に入れ、歯の詳しい検査を行うデンタル撮影があります。

また、セファロ撮影（頭部規格撮影）という歯科矯正治療において上下のあごの大きさやズレ、あごや唇の形態、歯の傾斜等を評価し、治療方針の決定や治療による経過を診るための頭部撮影もあります。



パノラマ撮影



デンタル撮影



セファロ撮影

骨密度測定

骨塩定量とは骨の中にカルシウム(骨塩)がどれくらいあるかを評価する検査です。骨塩の密度をはかることで骨の強さが分かり、骨粗しょう症や代謝性骨疾患の診断に用います。

当院ではDEXA法という2種類のエネルギーのX線を使用して、その骨がどのくらいX線を吸収したかで骨塩量を測定し、正常値と比較して判定を行っています。

検査時間は10分ほどで、検査台に仰向けで寝るだけですのでご安心ください。

